

UNITE  
FOR  
GOOD

RIメッセージ  
よいことのために  
手を取りあおう

# 週報 佐土原ロータリークラブ

会長：福嶋 城史 副会長：東 真苗美 RI 2730 地区ガバナー：西本幸則  
幹事：工藤 登紀子 会計：田辺 浩嗣 中部グループガバナー補佐：藤堂 孝一  
事務局：押川 有里 会報委員：藤浪 淳志  
例会場：コンベンションセンター  
RI 会長メッセージ：よいことのために手を取りあおう  
2730 地区メッセージ：「居心地の良いクラブとは」  
例会場住所：宮崎市大字塩路浜山 例会場 TEL：0985-21-1133・FAX 0985-21-1144  
事務局住所：宮崎市神宮東 2 丁目 6-26 TEL0985-72-7600 FAX0985-72-7600

## 第 1748 回例会 令和 8 年 6 月 17 日 (水)

<今日のプログラム>

- 1 点 鐘 会長 福嶋 城史 君
- 2 ロータリーソング
- 3 4つのテスト 本日の担当者より
- 4 会長の時間 会長 福嶋 城史 君
- 5 幹事報告 幹事 工藤 登紀子 君
- 6 出席報告 本日の担当者より
- 7 委員会報告
- 8 HPBOX 報告 本日の担当者より
- 9 委員会活動最終報告
- 10 次週例会案内 SAA より
- 11 点 鐘 会長 福嶋 城史 君

## 第 1747 回例会記録 令和 8 年 6 月 3 日 (水)

- 点 鐘 会長 福嶋 城史 君
- 国歌 斉唱 君が代
- ロータリーソング 奉仕の理想
- 4つのテスト 兒玉 康浩 君

### ■会長の時間 会長 福嶋 城史 君

福嶋会長は、まず接近した台風 6 号について触れられた。仕事柄、境界立会いの予定が複数入っていたが、市や県によって対応方針が異なり、安全確保を優先して延期となった案件もあったという。一方で民間案件については実施を検討したものの、実際には激しい風雨となり、結果的に全て延期せざるを得なかった経験を紹介された。天候に左右される職業の苦労を語りながら、これ



から本格的な梅雨・台風シーズンを迎えるにあたり、会員へ安全第一で業務にあたるよう呼びかけられた。

続いて、本日の卓話講師である右松隆央氏との縁について紹介された。

約 10 年前、大宮高校同窓会を通じて知り合ったこと、右松氏が同窓会活動に熱心に取り組まっていたこと、さらに自身が娘を高校へ送迎していた際、街頭活動中の右松氏へ手を振るのが日課になっていたことなど、親しみを込めて紹介された。また、自身の会長年度が最終盤を迎えたことに触れ、次年度は「クラブラーニングファシリテーター」として引き続きクラブ運営に携わることを報告。先日参加した地区研修で得た学びをクラブ活性化に生かしていきたいと述べられた。

さらに 2026-27 年度の役員・理事・委員会構成が発表された。

会長：東会員  
副会長：佐々木会員  
幹事：齊藤直之会員  
会計：黒水会員  
SAA：兒玉会員

などが紹介され、新年度への協力を呼びかけた。

### ■幹事報告 幹事 工藤 登紀子 君

まず、青森県東北沖地震災害に対し、第 2730 地区として 10 万円の支援金を送金したことが紹介された。

続いて、奉仕プロジェクト委員会によるオンライン研修会の案内があり、宮崎大学名誉教授による



「新ビジネスマンがアートを学ぶ理由」をテーマとした講演への参加が呼びかけられた。また、宮崎中部・南部グループ再編に関するアンケート結果も報告され、新名称は「宮崎県中部グ

ループ」、ガバナー補佐は2名体制、担当クラブは補佐同士で調整などの方向性が示された。

さらに、8月19日のガバナー公式訪問、6月17日の100%出席例会、齋藤正廣会員夫人のご逝去についても報告があった。

#### ■出席報告

太田 忍 君

日々の出来事に関する話題が共有され、本日の出席状況を報告した。

会員数：26名

出席：17名

欠席：9名

M U：1名

出席率：65%



#### ■HPBOX報告

誕生日のお祝いや日々の出来事に関する話題が共有された。

原田 宗忠 君



#### ■委員会報告 会長 福嶋 城史 君

永野陽子会員の娘さんの結婚を祝して、「くじらボックス」からお祝い金が贈呈された。



#### ■セレモニー

誕生日祝：吉田康一郎 君

結婚月祝およびその他祝：

- ・岩切正司 君
- ・郡司武俊 君
- ・杉尾一樹 君
- ・永野陽子 君



#### ■外部卓話

右松 たかひろ 氏

まず始めに、大宮高校および駒澤大学の先輩後輩としての縁に触れ、佐土原ロータリークラブの温かい雰囲気への感謝を述べられた。



それから、現在挑戦している宮崎県知事選について説明し、「県民支援と経済成長」を基本理念として掲げていることを紹介した。

まずは、政策の柱として、経済成長としての食品加工産業強化、中小企業支援、人材活用課新設、地元企業優先する。

そして、安心・安全な宮崎として、防災、医療、福祉を重要視したい。

それから、未来をつくる宮崎として、教育、人材育成、スポーツ振興にも力をいれていきたい。

さらに、行財政改革や交通政策にも政策を掲げていると説明した。

加えて、営業時代の経験として、自身が損害保険会社勤務時代に、1日100~200件の飛び込み営業をしていたことで、長期間契約ゼロ、挫折と継続を経験したことを紹介。その経験から、継続することの大切さを学び、それが現在の政治活動の原点になっていると語った。

右松氏は、民間企業が元気になってこそ宮崎が発展する、行政は民間を後押しする立場であるべき、地域でお金が循環する仕組みづくりが必要と強調した。

また、北海道の食品加工産業の成功例や鹿児島県の地元企業重視政策などを例に挙げながら、宮崎県も長期戦略を持って取り組むべきだと訴えた。最後に、宮崎を本気で良くしたいという思いを述べ、公約実現への決意を語って講演を締めくくった。

■点 鐘 会長 福嶋 城史 君

